

日本での人材受入（労務管理）の留意事項

ベトナム人と仕事をするための理解

アジェンダ

- “ベトナム社会主義共和国” について
- ベトナムの人の特徴的な事や驚いた事（労務管理の注意点のベースとして）
- ベトナム人の人事・労務管理のポイント
- 最後に
- 【参考】ベトナム語と日本語

“ベトナム社会主義共和国”について

Cộng Hoà Xã Hội Chủ Nghĩa Việt Nam

概要



1. 面積 : **32万9,241平方キロメートル**
 - 九州を除く日本の面積に相当（日本の面積の0.88倍）
 - 東南アジアの中央に位置し、南北に長く約1,700Km
2. 人口 : **9,370万人（2017年） … 世界14位、東南アジア3位**
 - ハノイ市：732万8,000人、ホーチミン市：829万8,000人
 - 平均年齢：31歳、平均寿命76.3歳（男71.7歳、女80.9歳）
3. 首都 : **ハノイ**
4. 行政区分 : **58省、5政府直轄市**
5. 民族 : **キン族（越人）約86%、53の少数民族**
6. 言語 : **ベトナム語**
7. 宗教 : **仏教（80%）、カトリック、カオダイ（ベトナム新興宗教） 他**
8. 気候 : **ハノイ** : 温帯冬季少雨気候 → 年間平均 気温23℃ (8℃~42℃)、湿度83%
ホーチミン: 熱帯気候 → 年間平均 気温27℃ (21℃~35℃)、湿度75%
7. 主要産業 : **農林水産業、鉱業**
8. 在留邦人 : **17,266人（2017年） … 在留邦人人数ランク16位**
 （大使館管轄 7,802人、ホーチミン領事館管轄 9,464人）
- 10.通貨 : **ベトナム・ドン (VND)**
 - 換算レート（2019年02月）
 - US\$ ≒ 約 VND 23,208**
 - JPY ≒ 約 VND 210**

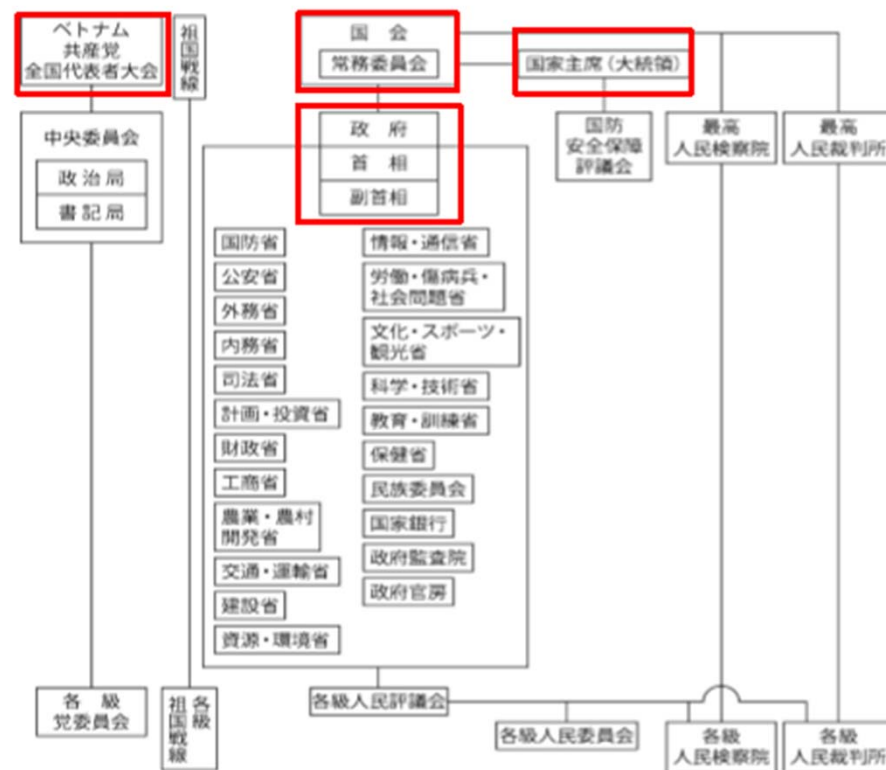
11.物価上昇率:
(前年同月比)

| | | | | | |
|--------|--------|-------|-------|--------|-------|
| 2007 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 |
| 12.63% | 19.89% | 6.51% | 9.19% | 18.50% | 9.20% |
| 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 |
| 6.03% | 4.09% | 0.63% | 2.67% | 3.52% | 3.80% |

“ベトナム社会主義共和国”について

政治体制

1. 政体 : 社会主義共和国
2. 国家元首 : ○ 国家主席
Trần Đại Quang (チャン・ダイ・クワン)
※2018年9月に逝去。チョン書記長が兼任
3. 議会制度 : 一院制 一党 (493名 任期5年)
○ ベトナム共産党 書記長
Nguyễn Phú Trọng (ゲン・フー・チョン)
○ ベトナム国会 議長
Nguyễn Thị Kim Ngân (ゲン・ティ・キム・ガン)
4. 政府 : ○ 首相
Nguyễn Xuân Phúc (ゲン・スアン・フック)
○ 副首相
Phạm Bình Minh (ファム・ビン・ミン)
Vũ Đức Đam (ヴー・ドゥック・ダム)
Trương Hòa Bình (チュオン・ホア・ビン)
Vương Đình Huệ (ブオン・ディン・フエ)
Trịnh Đình Dũng (チン・ディン・ズン)



チャン・ダイ・クワン
大統領



ゲン・フー・チョン
書記長



ゲン・ティ・キム・ガン
国会議長



ゲン・スアン・フック
首相



ファム・ビン・ミン
副首相



ヴー・ドゥック・ダム
副首相



チュオン・ホア・ビン
副首相



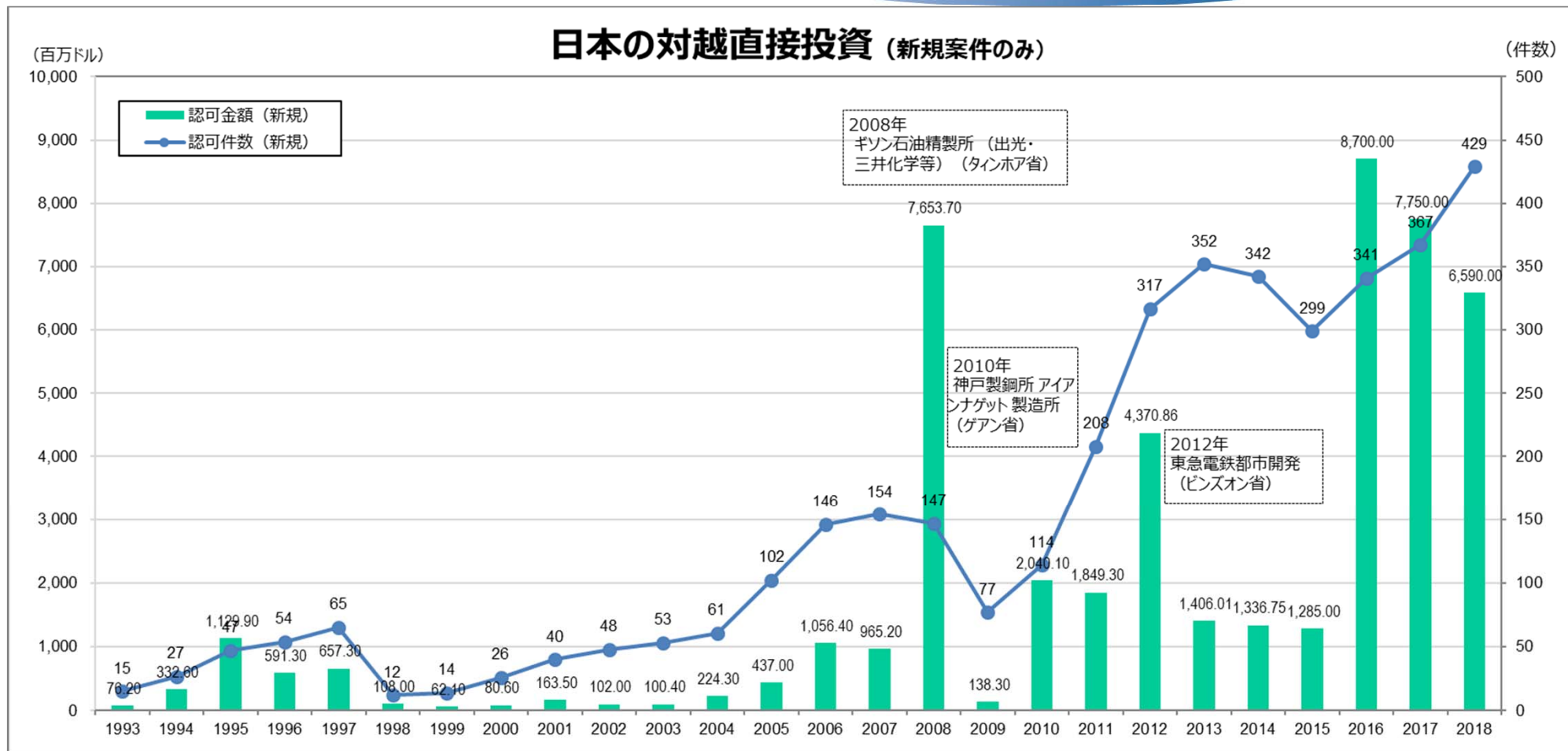
ブオン・ディン・フエ
副首相



チン・ディン・ズン
副首相

“ベトナム社会主義共和国” について

日本の対越直接投資



2017年 業種別対ベトナム直接投資（外国投資庁）

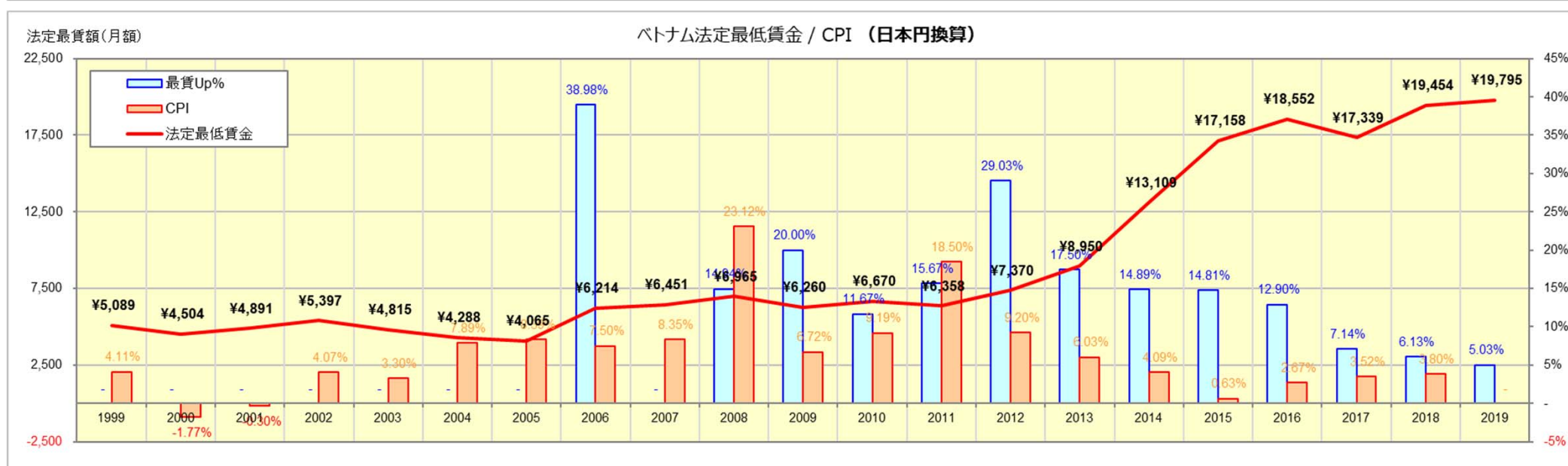
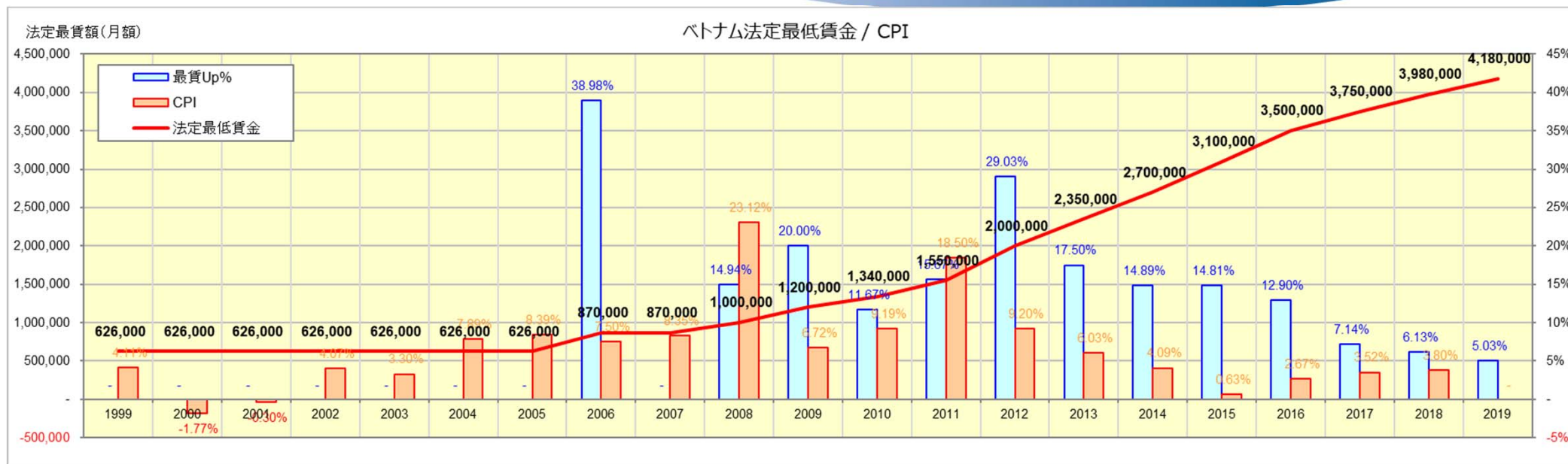
(100万ドル)

| 業種 | 新規 | | 拡張 | | 合計 | | | |
|------------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|----------|
| | 件数 | 認可額 | 件数 | 認可額 | 件数 | 前年比 | 認可額 | 前年比 |
| 1 製造・加工 | 968 | 7,244 | 790 | 7,413 | 1,758 | -8.5% | 14,657 | -5.6% |
| 2 ライフライン | 13 | 8,369 | 5 | 5 | 18 | 200.0% | 8,374 | 2,597.6% |
| 3 不動産 | 74 | 2,316 | 24 | 234 | 98 | 34.2% | 2,550 | 64.8% |
| 4 鉱業 | 3 | 1,283 | - | - | 3 | 50.0% | 1,283 | 1,768.5% |
| 5 廃棄物処理・給水 | 13 | 886 | 2 | 1 | 15 | -21.1% | 887 | 82.0% |
| 6 その他 | 1,670 | 2,054 | 413 | 978 | 2,083 | | 3,032 | |
| 合計 | 2,741 | 22,152 | 1,234 | 8,631 | 3,975 | 2.9% | 30,783 | 37.5% |



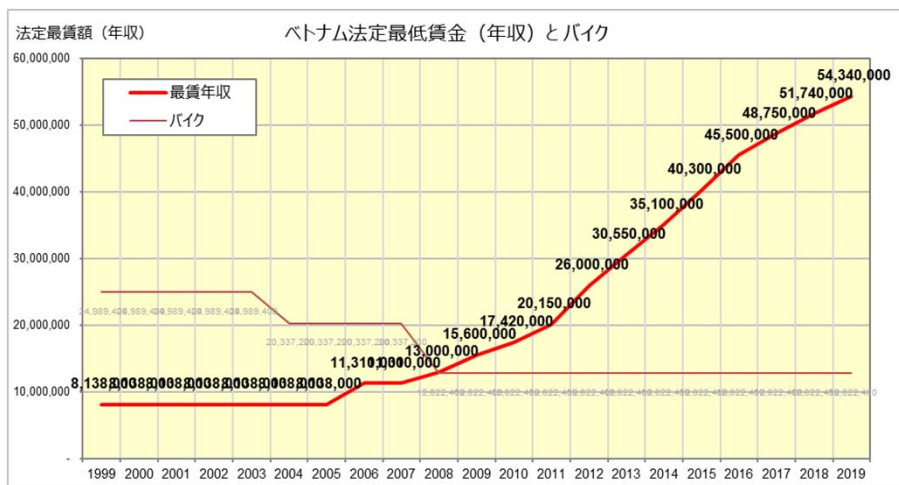
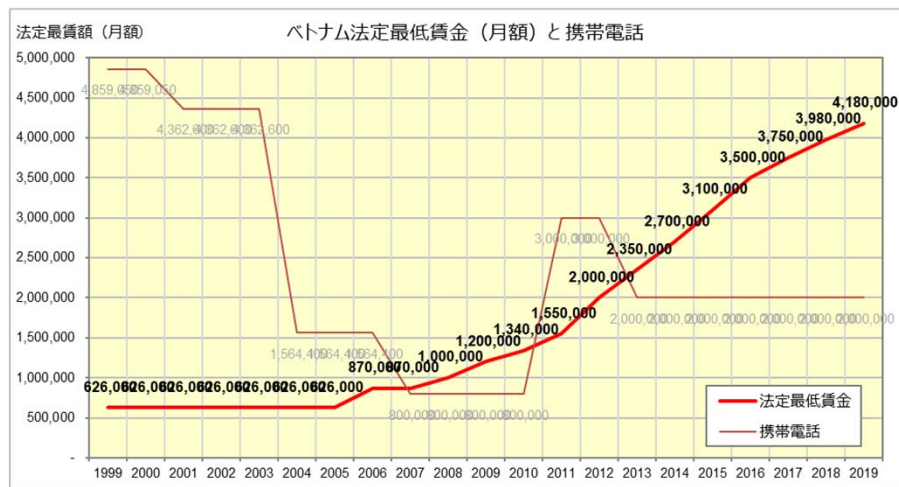
“ベトナム社会主義共和国” について

法定最低賃金

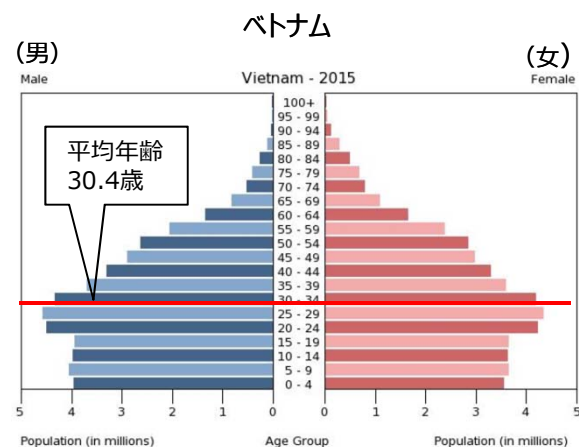


“ベトナム社会主義共和国”について

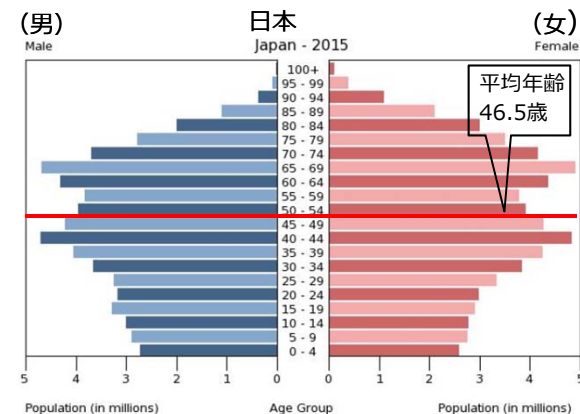
法定最低賃金と物価



ベトナム人口の年齢構成比



【参考】日本の年齢構成比



ベトナムの課題

- 過度に外交投資に頼った経済
 - ・ 外資頼みの経済成長と税収
 - ・ 外資依存率が高くIMFが警告
- 社会主義政策と市場経済
 - ・ 行政の仕組みの改革の遅れから社会保障制度の機能低下
 - ・ 経済発展による貧富の差の拡大
- 産業政策の遅れ
 - ・ 裾野産業育成の遅れ
 - ・ 人件費と労働力以外の競争力創出の遅れ
- 将来の高齢化社会への懸念
 - ・ 2030年頃には高齢化社会へ突入の懸念



“ベトナム社会主義共和国”について

ベトナムの学制

| | | | | | | | |
|-------------------|-----|--|--------------|-----------------|-----------------|--|--|
| 大学院（博士） (2~3年) | 3年 | <ul style="list-style-type: none"> 小学校～中学校が“普及教育” (= 義務教育) と規定 但し、学校施設の不足から公立の小・中学校は午前、午後の2部制 学校教育と職業教育は 基本的に“教育訓練省”の所轄。職業訓練校は他に“労働・傷病兵・社会問題省”と“工業省” 所轄のものが多数有 | | | | | |
| | 2年 | | | | | | |
| | 1年 | | | | | | |
| 大学院（修士） (1~2年) | 2年 | | | | | | |
| | 1年 | | | | | | |
| 大学（学士） (4~6年) | 4年 | | | | | | |
| | 3年 | (短期大学) 3年生 | (職業短大) (3年生) | | | | |
| | 2年 | 短期大学 2年生 | 職業短大 2年生 | (職業訓練校-中) (2年生) | | | |
| 高校 | 1年 | 短期大学 1年生 | 職業短大 1年生 | 職業訓練校 - 中 1年生 | (職業訓練校-初) (3年生) | | |
| | 2年生 | 職業訓練校 - 初 2年生 | | | | | |
| | 3年生 | 職業訓練校 - 初 1年生 | | | | | |
| 中学校 | 4年生 | | | | | | |
| | 3年生 | | | | | | |
| | 2年生 | | | | | | |
| | 1年生 | | | | | | |
| 小学校 | 5年生 | | | | | | |
| | 4年生 | | | | | | |
| | 3年生 | | | | | | |
| | 2年生 | | | | | | |
| | 1年生 | | | | | | |
| 幼稚園 | | | | | | | |
| 保育園 | | | | | | | |

ベトナムの能力評価制度

- 2008年にドイツの援助により“国家職業技能基準”の開発を開始し、2011年に第1号の国家技能検定が実施される。189職種の基準が作られる。
(累計受験者 8,536人、合格者4,221人：2016年時点)
- この技能検定の制度には、工業系でいわゆる“モノづくり”の職種が“CNC金属加工”くらいであったため、日本政府は、2010年から専門家を派遣しODAでの支援を開始。①各職種の技能検定員養成、②専門家派遣による制度化支援、技能検定の広報支援を行う。
- 制度化とは、“日本式技能検定の国家検定への制度化”であり、ベトナムの工業化目標に合致し現地進出の日系企業のニーズも高い、機械・電気系の5職種を選定。2018年6月ベトナム国家技能検定として認定される。

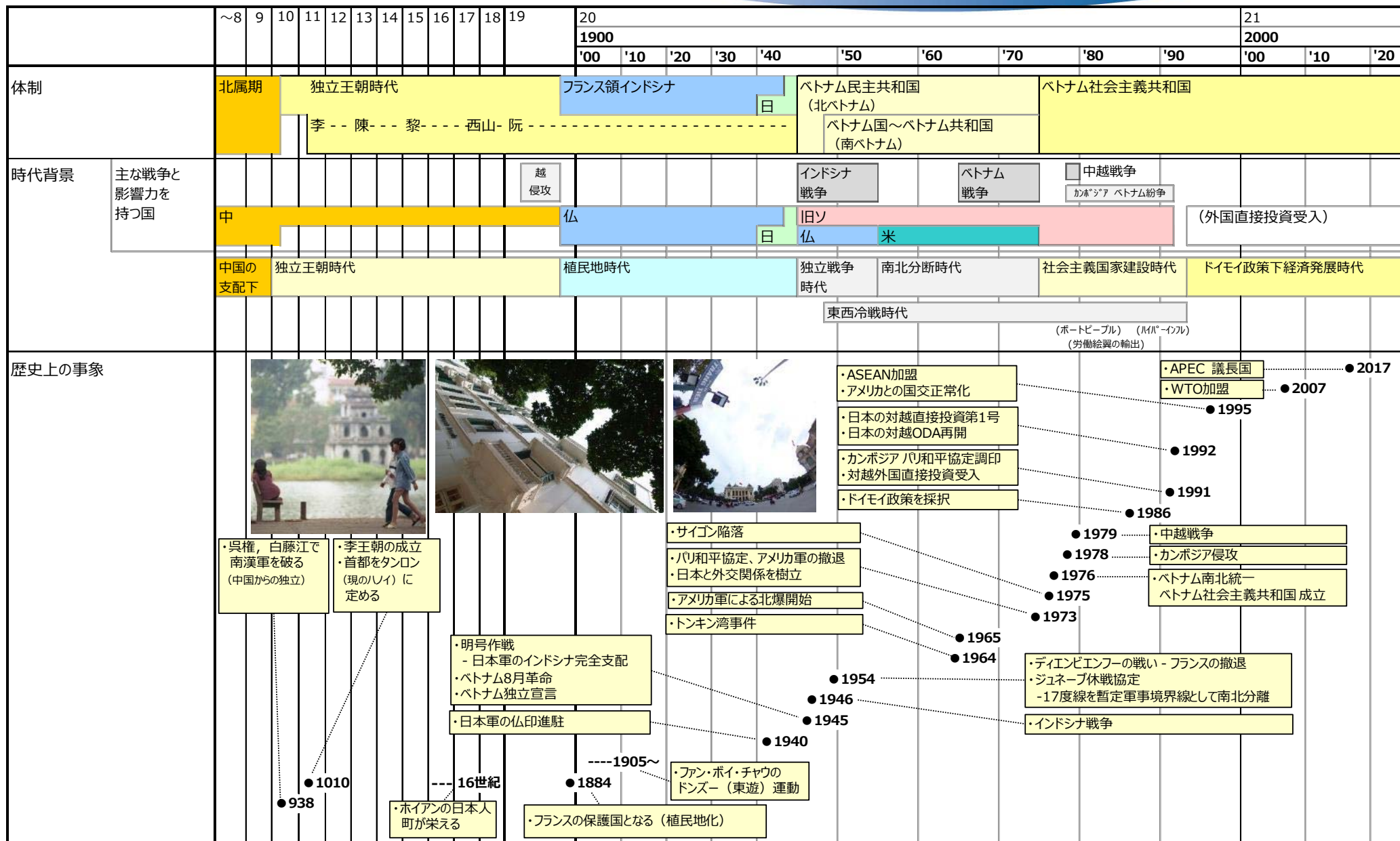


【職種と受験者数（2016年現在）】

- ①旋盤（2級、3級） 176人、②フライス盤（3級） 37人、③機械検査（2級、3級） 37人、④情報配線工（2級、3級） 37人、⑤シーケンス制御

“ベトナム社会主義共和国” について

歴史背景



“ベトナム社会主義共和国”について

ベトナムは“親日”国

○ ベトナムの文化は日本に近い？

- ・ 大乘仏教
- ・ 儒教
- ・ 中国文化の影響
- ・ 農耕民族
- ・ 米食、箸を使う、お茶の文化

※ 根底に日本人とベトナム人は近いものがあると感じられる

○ 日本とベトナムの関係

- ・ 朱印船貿易時代 …… ホイアの日本人町
- ・ ファン・ボイ・チャウの東遊運動（ドンズー運動）
- ・ 日本軍の仏印進駐～インドシナ完全支配
- ・ 残留日本人によるインドシナ戦争協力
- ・ 日本のODA供与国のトップに

※ 歴史上、下の3つの事以外は友好的と捉えられ、日本に悪い感情を持つ人は少ない

日本がベトナムを裏切った3つの事

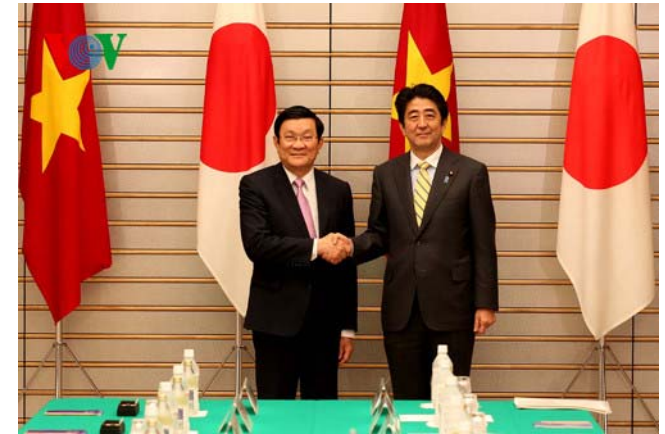
（現在これに触れる人は殆どない。“技能実習”での様々な困難が4つ目にならないように…）

- 日仏協約（1907年）後ファン・ボイ・チャウを追放してフランスへ引き渡した
- 1945年ベトナム大飢饉
- ベトナム戦争中、米軍の爆撃機は日本の沖縄から出撃

○ ベトナム人の日本への印象

- ・ 真面目で勤勉
- ・ 規則や約束を守る
- ・ 街が室内が整然として清掃されている
- ・ 品質の高い日本製品

※ 日本はベトナム人にとって、尊敬や模範にする対象とされていると言ってもよい



“ベトナム社会主義共和国”について

頼りになる“親”がいた歴史

○ フランス植民地時代

- ・ ローマ字表記「クオック・グー/Quốc ngữ（國語）」によるベトナム語
- ・ 産業開発とインフラ整備（アオザイも・・・）

○ インドシナ戦争時代

- ・ 冷戦構造初期の旧ソビエト連邦の支援
- ・ 残留旧日本兵による軍の改革

○ インドシナ戦争後

- ・ 旧ソビエト連邦および東側諸国の支援
 - 社会主義国家建設支援
 - 経済支援、インフラ整備支援
 - ベトナム人民軍近代化支援
 - ベトナムから東側諸国への労働力輸出



○ 冷戦終了後

- ・ 外国直接投資導入～外国投資偏重

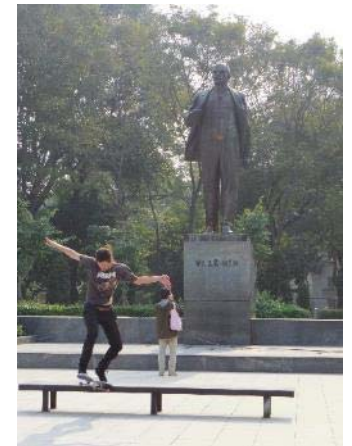
※ 外国に翻弄された歴史とはいえ、基本的なインフラ建設や経済など東西の先進国が“親”のように、助けられてきた。
現在は、外国直接投資がその役割を担っている？

ベトナムは社会主義国家

○ 現在、数少ない社会主義国家

- ・ 現在、はっきり“社会主義”をうたっている国家は、ベトナム、ラオス、キューバ、北朝鮮・・・
- ・ 共産党一党体制
- ・ 知識層・富裕層への弾圧（～ボートピープル）、配給制（バオカップ制度）、計画経済（経済の破綻、ハイパーインフレ）などの歴史
- ・ ベトナム古来の文化と社会主義国家としての人民育成の混成

※ 社会主義、民主主義の良し悪しは別として、ベトナム人の考えで日本人は驚くことは少ない



ベトナムの人の特徴的な事や驚いた事 (労務管理の注意点のベースとして)

○ プライドが高い？

- ・ プライド？自尊心？
- ・ 外国に翻弄された歴史と独立民族として、半鎖国状態だった影響？
- ・ 社会主義国あるある・・・？

○ ベトナム人は“手先が器用”、“頭が良い”、“勤勉”？

- ・ 条件が合致すれば、頭の回転や記憶力がよく、細かい仕事も集中して取り組んで淡々と仕事に取り組む
→ 手順や“コツ”を覚えるのが早い。手順の効率を考えることも上手・・・条件が合致すれば
- ・ 条件とは
→ 人によって・・・お金？名誉？興味？達成感？責任感？
- ・ 左ハンドルの日本の中古車
→ 右ハンドル車が禁止のベトナムでは日本の中古車を輸入し左ハンドルに改造することがよくあった。修理工場レベルで。
- ・ “ロボコン”ではベトナムからの出場校がいつも優勝候補
- ・ 名門校での主席、シリコンバレーでのベトナム人技術者比率等々、世界で少なくないベトナム人の活躍

○ ルールを守らない？

- ・ ルール順守の意識は民主主義の国の方が高い？
→ 皆がルールを守る前提があって自由が確保されているから？
- ・ ルールのような“守るべきこと”守らなくてはならないことはよくわかっている。
→ 他が守っていない事を先に守ったら損と考える？

○ マナーが日本と違う？

- ・ 挨拶をしない、掃除の仕方を知らない、ゴミ箱に捨てないなど
→ 習慣的に家族や友人などには丁寧な挨拶をしている。社会のマナーとしては教えられていない。
→ 掃除やごみの処理は分業ため
→ 社会主義あるある・・・？
- ・ 家族、親戚の間では、上下関係、挨拶、規律等々、比較的厳しい人間関係

○ 謝らない

- ・ “植民地”経験のある国ではよくある。
→ “謝る” = “処罰されることを覚悟”の意味とよく言われる。
→ “謝る”ことの重みが日本の常識と違うかも知れない・・・反対に日本人は“謝る”ことが軽すぎと思われているかも
→ 日本人は腹を立てずに、日本人と仕事をする上で“謝罪”の必要性を丁寧に解説する必要がある。



ベトナムの人の特徴的な事や驚いた事 (労務管理の注意点のベースとして)

○ フランス、アメリカ、中国を追い払った国

- ・戦争が多かった歴史であるが、勝って他国を得る戦略でない。戦争に勝とうとする戦略でなく、負けない戦略。
- ・時刻の“独立”を脅かす相手には大きな犠牲を払っても追い出すまでとことん戦う
 - 発展途上国だから、出稼ぎだから・・・というように外国から見られることには敵視の気持ちを持つ
 - “理不尽”と感じることは、とことん戦う大義名分になる
- ・島の領有権などで中国との緊張（2015年）
 - 「もしも中国と戦争になって徴兵されたらどうする？」と聞いたら、若者で「勿論徴兵に応じて戦う!」と言った人が意外に

○ 外資系企業で頻発したストライキ

- ・日系企業では 2008年～2011年頃に頻発。実際には適法のストライキではなく、“就業ボイコット”。
- ・理由は、
 - 高率インフレでの生活苦
 - その後政府は経済成長を若干犠牲にしながらでもインフレ抑制策をとる
 - 食堂の食事への不満
 - 社会主義国では食堂は無償提供が普通で、食事は給与の一部と考えている
 - 約束の不履行や条件の変化など
 - その後は、他社からの飛び火、扇動者の潜入、一部の社員が扇動者を雇うなど
 - ストライキとなると理由はどうあれ臨時昇給などしか解決策がないため
- ・ストライキに賛同していない社員も脅されるなどして仕事場に入れないという例も頻発

○ 振り上げた拳は自分が不利になっても絶対下げない

- ・ストライキなど、始めてしまったら目指す条件を獲得するまでは背水の陣で戦う
 - ただしベトナム人同士の場合は異なる
- ・退職の場合も、一旦会社へ言った以降は他人に誇れる条件でも得ない限りは変えない
 - もしも気持ちは戻りたくても他への面子がないので・・・
- ・拳を振り上げる前に察知し先回りの対応が重要

○ 甘えることにしたたか

- ・“外国” = “富める国” との考えはいまだに強く、そこからより良い条件を得るためには“プライド”を構わず、隙をつく、あきらめず・・・。
 - どこまで“甘えて”大丈夫か顔色を慎重に見ながら



ベトナムの人の特徴的な事や驚いた事 (労務管理の注意点のベースとして)

○ 長期的視野、計画的に物事を進めるのが苦手？でも緊急事態の対応は得意

- ・ ベトナムの歴史的背景
 - 戦争の歴史、社会主義国家建設時の混乱（財産の没収、配給時代、ハイパーインフレ時代）
- ・ 緊急事態対応は得意
 - 迅速且つ組織的な動きで上手に対処・・・だから準備は重要でないと考える？
- ・ 女性の方が男性よりも少し長期的視野、計画的、現実的な視点で考えられる
- ・ 社会主義国あるある・・・？

○ 子供っぽいところが・・・

- ・ 立場を顧みず生意気な態度、勝手気まま、はしゃぐ、甘える。
集中力、吸収力、素直さ。

○ ベトナムは、治安のよい国、助け合い意識の強い国

- ・ 窃盗の類の事件は多いが、凶悪事件は少ない
 - 窃盗、ひったくり、スリなどは、日本と比較すると非常に多い
 - 殺人、虐待、誘拐などは、日本と比較すると非常に少ない
- ・ 子供は地域で守る雰囲気
 - 周りがよく子供を見ている。危険な時はすぐに手を差し伸べ、状況により他人が親を叱って
- ・ 街で“ひったくり”でもあれば、周りの男たちが全力で捕まえる



ベトナム人の人事・労務管理のポイント

○ 規則・ルール、運用基準を明確にして全員が遵守する

- ・ 日本人社員と同じ規則および運用基準で十分であるが、しっかりと理解をさせる
→ 日本人社員の規則遵守の姿勢、日本社員に対する運用のしかたが重要
- ・ もしも特別な規則（日本人には適用しない規則）を規定する必要がある場合は、合理的な理由を明確に説明する
→ 「外国人だから」、「実習生だから」などのみの理由は理解できない。何故「外国人だから」、「実習生だから」なのか合理的な理由の説明が必要
- ・ “故意または重大な過失～” という規定は理解しにくい
→ ベトナムの会社の就業規則にこのような表現で規定すると労働局に受理されない - - - “重大な過失” とはいくらなのか? ”と言われて・・・
→ “重大な過失” というような規定が必要な場合は、その定義を明確にするか、明確にできなければ、判断の基準や手続きを明確に
- ・ 規律のためには、厳しい対応は必要ないが規則の運用は厳格に、規則以上に甘くすることも不要。
→ 規則以上に厳しい事は悪感情へ、規則以上に甘いことはとことん甘えようとする感情へ
→ 良い条件も要求を “ダメもと” 言ってみるといことがよくあるので注意を。より良い条件を、という事であれば “ダメなものはダメ” で可

○ 会社の5Sに注意

- ・ “技能実習生” は、出国前に “日本語” の他に “5S” を教わってくる。実習開始した際に5Sで幻滅することがないように。
→ 日本の “優れた” ところとして “5S” を学習してくる。（“5S” はベトナム語でベトナム国内で紹介されている）
→ 会社の様子、日本人社員の “5S” の意識についてよく観察をしている。自分が実践する前に日本人が確り実践していなければそれ以上は実践しない。
→ “5S” の各 “S” の考え方が各社で若干異なることがあるが、考え方を合理的に説明が出来れば理解できる。理由なしに “これは必要ない” などは理解できない。
- ・ “手先が器用で、頭が良く、勤勉” な人が、5Sを実践しながら仕事に取り組めば戦力となる筈

○ 報・連・相に両面で注意

- ・ ベトナム人は、仕事上の 報・連・相 は不得意。会社も 報・連・相を正しく実践することが重要。
→ ベトナムの役所や国営企業などでは、報・連・相 を部下からして “報告” 以外はプラスとなることは少ない。（ボトムアップよりトップダウン）
報・連・相は、自らが主体的に行うことへ理解し難い。
→ 会社として、報・連・相 が何故大切かを理解させ、会社全体で実践（日本人が実践している以上は実践しない）
- ・ 個々人に利益があることで、同じ権益のある人どうしでは 報・連・相 をする。噂話的なことに注意。
→ 日本人の行動で、もしも不正な事、理不尽な事があれば、翌日にはベトナム人全員知っていると見てよい。
→ 社外のベトナム人との接触で、“良からぬ” ことに引きずり込まれるようなことがあれば、ベトナム人全員で共有されていると見てよい。
→ 明確な証拠が無ければ問い詰めることは逆効果。日々のコミュニケーションのなかから異常を察知する気遣いを。

ベトナム人の人事・労務管理のポイント

○ “安全” に注意

- ・ 作業の安全について、日本の常識からは驚くような事をする。作業手順の順守に気をつけて
 - 「まさかそんなことはしないだろう」ということをいきなりすることがある。作業に慣れてくると、自己流の効率化のため手順を変えたりすることがある。器用な人ほどやり勝ち。作業の安全と品質への危険。手順を理解しているか順守しているか監督を。
 - もしも、作業の効率化にアイデアがあるのであれば、手順変更の社内手続きを踏んで、公式に手順を変更してからということを理解させる。
 - アイディアを持っている人には、ただ「ダメ」と止めるだけでは、自分の作業負担軽減のために隠れてそれを続ける懸念も・・・。

○ “率先垂範” は効かないが、よく見ている

- ・ “率先垂範” は効かないが、自分の指導者がどんな行動をとっているか良く観察している。
 - 良い事はマネしないが、悪い事はすぐにマネをする。
 - 良い事は徐々に参考にして、その指導者の下でのあるべき姿の基準を自分のなかで形成していく？
(利口な人は良い事を段々と修得していく・・・。利口かつ素直な人が有利)

○ コミュニケーション

- ・ 日本語でスムーズに会話が出来ない段階でも、片言でもジェスチャーでも良いので、雑談程度でも毎日コミュニケーションを
 - 「うちの実習生は日本人と会話しようとしな」と聞くことがあるが、「下手な日本語を笑われるのでは・・・」と自分から話さない、またそれを悟られたくないと思う人が多い。打ち解けて話すようになるまで、日本人が我慢して毎日コミュニケーションを。
(ベトナム人は男女ともにおしゃべり。外国人とおしゃべりに興味津々)
- ・ 日本語で比較的スムーズに会話出来る相手の場合、日本人の常識からは驚くような返答があっても怒らず意味を確認
 - 例えば、「○○さんは疲れたので今日は会社を休みます」・・・これは「具体が悪いので」という意味
- ・ 日本語の通訳役に注意
 - 日本語が上手な人に対して、日本人が“錯覚”を持ってしまう恐れ。
あたかも日本人と話しているような気持になり、「この子は優秀」と手放しで無意識な高評価となっていたり、つい他のベトナム人の悪口を言ってしまうたり・・・。
その通訳は他のベトナム人に対して、自分は副社長や副部長のような存在と振舞っていたり・・・。
 - 他のベトナム人が、「日本人が“えこひいき”している」と捉える可能性。“えこひいき”と思う状況は禁物。
 - 結局、ベトナム語がわからない日本人にとってはこの通訳役を通してしか情報を得られないため、日々信頼関係を築きながらも留意を。
(この通訳役がベトナム人に対してどんな態度をとっているかで雰囲気を抑えるかも・・・。自分に対してと全然違う態度をとっていたりして・・・)

ベトナム人の人事・労務管理のポイント

○ 人前で叱る事

- ・ 人前で叱ることは避けるべき。それ以前に感情で“怒る”ことは禁物。
 - 会社の日本人が感情のまま怒ること、不要な悪感情を生むだけで、絶対避けるべき
(普通に考えても避けるべきであるが、植民地や外国に翻弄された歴史のある国には日本人が想像する以上に感情に影響)
 - 人前で叱られることは“恥”と感じる。
(“叱る”ということであれば、その意味が理解できる人に対して、端的に済ませるのであれば問題ない場合も)

○ 叱られているのにニヤニヤ・・・反省していない？

- ・ 反省しているから“バツが悪い”のでニヤニヤしてしまう。
 - こちらが真剣に“叱って”いるのにニヤニヤされると、こちらは腹が立つが我慢して。
 - もしも反省していなければ、真顔になって屁理屈でも反論、または硬い表情のまま睨むか・・・

○ 3Kの採用難

- ・ “危険”、“汚い”、“きつい”のいわゆる“3K”職種への就職希望者が減っている状況
 - 現地日系企業でも、以前ほど人材確保が容易でなくなっている
 - 生活水準の向上、サービス業業種の拡大から、製造や建設現場での仕事が避けられがち
現地日系企業でも人材確保が徐々に容易でなくなっている
 - 周りに対して格好が悪いというイメージ
- ・ 格好云々と言っても処遇次第
 - 単に高い給与という事でなく、総合的な処遇
(単にベトナム人に尋ねると、「勿論、工場の仕事は嫌い」とか「給与が高くないと人は集まらない」とかを言うが、鵜呑みにせず注意を)

○ 実習を終えて帰国した後に実習や日本での経験をどう活かすか

- ・ 実習に直接的に効果をもたらさないかも知れないが、この視点を持って実習に臨む人は姿勢も違うはず
 - 殆どのベトナム人は、3～5年後には帰国し国で仕事を探す。
そのために実習や生活で何を修得するかという視野を持てば、実習への取り組み姿勢も違うはず
 - 自分でそれに対する情報を持つ、または想像ができる人は多くない。毎日のコミュニケーションのなかできっかけを作ってあげられれば
- ・ 帰国後、実習職種と同じ技能の職種を得る人は多くない。
 - その技能のみならず、日本の会社での仕事や生活で総合的に得たことを将来活かせるか

最後に

○ 魅力的なベトナム人材

- ・ “手先が器用”、“頭が良い”、“勤勉” の潜在能力
- ・ 戦争に勝とうとする戦略でなく、負けない戦略とそれに対する団結力
- ・ 正しいこと、正しくないこと、身の振り方、観察力と判断力
- ・ 儒教の国、親戚間の厳しい人間関係、規律意識
- ・ 人と人が近く助け合い、協力の意識
- ・ 子供っぽい、集中力、吸収力、素直さ

※ **仕事に対してモチベーションを持ちこれらを発揮した時、
そして5Sや報・連・相などの仕事遂行の管理手法を実践できれば、優秀な戦力となる可能性**

○ 前項の “ベトナム人の人事・労務管理のポイント” について

- ・ それぞれについて、“ボタンの掛け違い” が拡大していくと、まず仕事へのモチベーションの低下につながっていくと考える
(現地の会社ではストライキなど労使関係の悪化への懸念)
- ・ うまくいけば・・・ 信頼関係の構築、仕事へのモチベーションの向上へ、上記能力発揮への可能性

※ **仕事へのモチベーションから上記能力発揮への可能性**

○ 日本人側の対応

- ・ ベトナム人の言動や行動に、日本人の常識から瞬時に “腹が立つ” ことが少なくないが、一瞬押さえてその後ろにある事に理解を
- ・ 日本人を雇用した場合と基本的に同じ処遇と対応を
 - 特別に厳しくしない、特別に甘くしない、規則などで “約束” している事を淡々と遂行する。
 - 規則は基本的に日本人を雇用する場合と同じ考え方で。実習生向けの別規則が必要な場合は合理的な理由を

【参考】ベトナム語と日本語

ベトナムは、日本同様に漢字文化圏。現代語でも辞書に載っている単語の70%以上が漢字語で、漢字表記が可能。対応する漢字が無い言葉は、漢字を応用した独自の文字を作り、漢字と交ぜ書きをする。

現在のベトナム語表記に使われるのは、17世紀にカトリックの宣教師が考案し、フランスの植民地化以降普及したローマ字表記「クオック・グー / Quốc ngữ (國語)」。植民地期にはクオック・グーは、フランスによる「文明化」の象徴として「フランス人からの贈り物」と呼ばれたが、独立運動を推進した民族主義者は全てクオック・グーによる自己形成を遂げたため、不便性と非効率性や識字率向上を理由に、漢字やチュノム文は排除され、クオック・グーが独立後のベトナム語の正式な表記法となる。1945年の阮朝滅亡とベトナム民主共和国の成立により、ベトナムの国字として漢字に代わり、クオック・グーが正式に採択されたことで、漢字やチュノムは一般には使用されなくなった。公式な漢字の廃止は1954年。

【日本語に近い漢字の言葉】

ベトナム社会主義共和国

Cộng Hoà Xã Hội Chủ Nghĩa Việt Nam
共 和 社 会 主 義 越 南

| | | | | | | |
|----------|-----------------|---------------------|---------|----------|---------|----------|
| 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 大学 | 学院 | 国道 | 電力 |
| Tiểu học | Trung học cơ sở | Trung học phổ thông | Đại học | Học viện | Quốc lộ | Điện lực |
| 小 学 | 中 学 基 礎 | 中 学 普 通 | 大 学 | 学 院 | 国 路 | 電 力 |

| | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|------------------------|-----------------------------|------------|
| 病院 | 公園 | 公共 | ベトナム共産党 | ソビエト連邦 (ソ連) | 中国 |
| Bệnh viện | Công viên | Công cộng | Đảng Cộng sản Việt Nam | Liên bang Xô viết (Liên Xô) | Trung Quốc |
| 病 院 | 公 園 | 公 共 | 党 共 産 越 南 | 連 (邦) ソビエト (連 ソ) | 中 国 |

| | | | | | | | | |
|-------------|-------------|---------|--------|-------|-------|--------|----------|----------|
| 工業 | 農業 | 管理 | 意見 | 注意 | 留意 | 累計 | 検査 | 改善 |
| Công nghiệp | Nông nghiệp | Quản lý | ý kiến | Chú ý | Lưu ý | Lũy kế | kiểm tra | Cải tiến |
| 工 業 | 農 業 | 管 理 | 意 見 | 注 意 | 留 意 | 累 計 | 検 査 | 改 進 |

【漢字ごとの意味の違いを発音で区別】

| | | | |
|---------|-------------------|-----------------|-------------------------------------|
| Tuyen → | 採用 選考 | 宣言 | 路線バス |
| | Xét tuyển | Tuyên bố | Xe buýt tuyến |
| Thanh → | 成功 | 音声 | 完成 (品) 青春 |
| | Thành công | âm thanh | Thành phẩm thanh xuân |



【その他】

| | | | | | | |
|----------|--------------------------|---------|-----------|----------|-----|----------|
| 労働 | 労働安全衛生 | 会社 | 企業 | 日本 | 家 | レストラン |
| Lao động | An toàn vệ sinh lao động | Công ty | xí nghiệp | Nhật Bản | Nhà | Nhà hàng |

日本での人材受入（労務管理）の留意事項

ベトナム人と仕事をするための理解

終